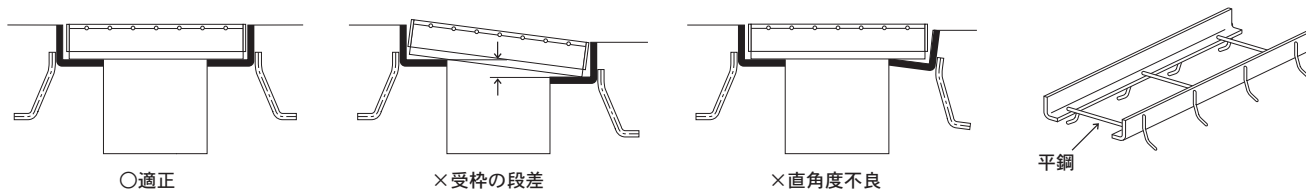


# 受枠の施工要領

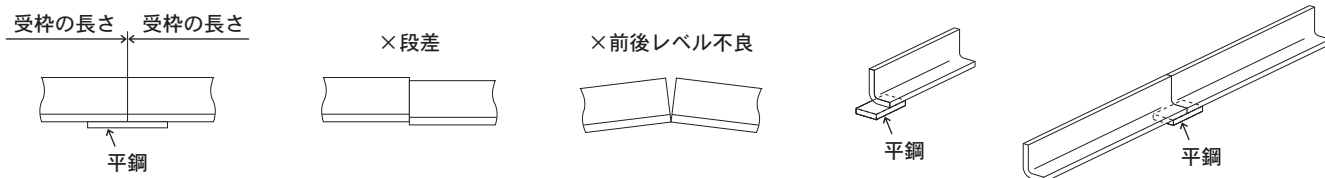
## 受枠の左右レベルについて

受枠上部に平鋼を仮溶接していただきますと左右レベルが正確に保持されます。特に傾斜面にはこの方法をご採用ください。



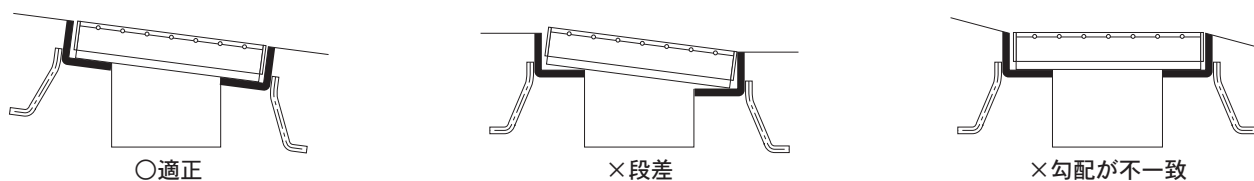
## 受枠継目の段差および前後のレベルについて

一方の受枠端部の下に平鋼を溶接し、他方の受枠を重ねて継目を溶接していただきますと、コンクリートの打設時にも受枠が移動することがなく段差が起りません。



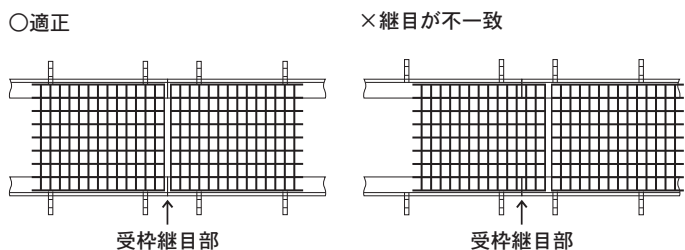
## 縦断勾配のある路面について

縦断勾配のある路面では、グレーチング路面勾配と一致するように施工してください。



## 受枠継目部の一致について

受枠の継ぎ目とグレーチングの継ぎ目が一致するように施工してください。



## コンクリート打込幅について

- ①受枠のコンクリート打込幅は100mm以上お取りください。また路盤鉄筋がある場合はこれにアンカーを溶接してください。
- ②受枠とグレーチングの目地は4mmになるようにしてください。

